

# 見積もりの読み方

金額を見る前に、「含む・別途・記載なし」をそろえる。

LINE友だち追加特典 01 / 自分で確認するための資料

## 01 見積書の前提を確認

見積日・有効期限・工事場所・対象設備・型番を控えます。

総額が税込か税別か、数量・単位が同じかを確認めます。

## 02 工事項目を3つに分ける

含む：その見積に含むと書かれている項目。

別途：追加になる条件・金額・見積時期を確認する項目。

記載なし：対象外や0円と決めず、含まれるかを質問する項目。

## 03 見落としやすい項目を書き出す

撤去・処分 / 配管・配線 / 床・壁の補修 / 搬入・養生

諸経費 / 追加工事の条件 / 工期 / 保証範囲 / 支払条件

## 04 この一言で確認

「この金額に含まれる工事と、追加になる条件・費用を  
書面で教えてください。」

回答日・担当者： \_\_\_\_\_